

# めざせ東京パラ激励会「皆に夢を」

2020年の東京パラリンピックに走り幅跳びでの出場をめざしている倉内未来選手(25)の激励会が21日、母校の県立青森第二高等養護学校(青森市)で開かれた。

知的障害のある倉内選手が陸上競技を本格的に始めたのは、同校1年のとき。元教諭で現在コーチを務めている長谷純子さん(63)の勧めで陸上の県大会に出場したのがきっかけだ。

現在は東京大会に向け、年内に自己ベストを28センチ更新するB標準記録(5センチ2)を超える記録を出し、強化指定選手に選ばれることを

めざして練習に励む。

激励会では後輩たちから様々な質問がとんだ。「心の支えは何か」という質問には「夢を持つこと」、「これからの目標は」という質問には「皆に夢を与えられるようになりたい」と笑顔で答えていた。

激励会後は、同校の陸上部員と共に練習。10月に短距離走で全国大会に出場する予定の2年の竹内大斗さん(17)は「大会に向けて頑張ろうと思った」と話した。

(板倉大地)

## 走り幅跳び・倉内未来選手



陸上部員と練習する倉内未来選手(中央)＝青森市戸山

来年の東京パラリンピックやサッカーJ2での活躍が期待される選手たちの激励会や会見が21日、県内で相次いで開かれた。

# スポーツ期待の星